

実証YZRパワー!

'89世界GP鈴鹿レポート

●NEW MODEL **NEW TZR250** ニューカラー

〈特集〉 売ってます! 売ってます!

魅力いっぱい'89ヤマハスポーツ



実証YZRパワー!

'89WGP開幕戦で 250ccクラス優勝 500ccクラス第2位

250ccクラス圧勝を飾ったコシンスキー



日本人最高位の4位入賞を果たした本間



中盤まで続いた250ccクラスのトップ争いはまさにYZR一色

88年数々の国内外タイトルを獲得したヤマハファクトリーロードレーサー「YZR500/250」が、今年も開幕戦から絶好調。3月26日に鈴鹿サーキットで行なわれた'89世界選手権シリーズ第1戦日本グランプリロードレースでその真価を大いに発揮し、話題を一気に盛り上げました。

まず、毎年実力伯仲でドッグファイトが展開される250ccクラスでは、YZR250を駆るJ・コシンスキーと本間利彦が揃って2分17秒台のコースレコードをたたき出しポールとセカンドポジションを獲得。決勝レース序盤にはこの2台による激しいトップ争いが演じられる一方、一時上位に4台のYZRが並ぶという場面も。

勝負はコシンスキーが師K・ロバーツゆずりの上手い走りで見事優勝。3位にL・カダローラ、4位に本間が入賞したのをはじめ、J・P・ルジア、塩森俊伸、J・ガリツガと出走した6台のYZRがすべて10位以内に顔を揃えるという、快挙を成し遂げました。

続いて行なわれた500ccクラスは、YZR500を駆るW・レイニーが予選から闘志むき出しの激しい走りを披露。惜しくも優勝こそ逃したものの、最後まで、K・シュワンツとのもつれ合うようなトップ争いを演じ、その実力を証明。

また、日本のエース平忠彦がタイムブラクテイスで前人未踏のコースレコード、2分11秒886を樹立した他、今年YZRを駆ってGP復帰のF・スペンサー、K・マギー、N・マッケンジー、C・サロン、さらには'88全日本チャンプの藤原儀彦らが常に上位グループで大健闘し、



ヤマハを駆り勝利にファイトを燃やす
250ccクラス参加選手たち



最後まで熾烈なバトルを展開し、
会場を沸せたレイニー

500ccクラス・スタート直後、トップに躍り出
たのはYZRを駆るF・スペンサー



500CCクラスでもトップグル
ープを形成したのはYZR軍団



ビットに花を添えたのは
ネスカフェ・アメリカカ
ナレーシングチームのマ
スコットガール、歌手の
本田美奈子さん



世界GPで、全日本で、今後の活躍が
大いに期待されるYZR500軍団



前人未踏のコースレコードをたたき出し、
会場を話題を一気にさらった平

'89TTフォーミュラ世界選手権シリーズ第1戦

ポカリスエット'89SUGO TTフォーミュラ世界選手権レース

1989年 5月12日(金)・13日(土) 公式予選
14日(日) 決勝



'87、'88年と世界最高峰のフォーミュラマシン
を迎えてSUGOで開催されたTTフォー
ミュラ世界選手権。グランプリレースとは一味
違った、市販車ベースマシンによるレースの
醍醐味が味わえるとあって、昨年は3万2000
人の大観衆がSUGOに押し寄せました。

この「TTフォーミュラ世界選手権」が、
今年もSUGOからスタートします。世界中のレ
ースファンが注目する第1戦を、ぜひお客さ
まと一緒に観戦ください。

儀彦らが常に上位グループで大健闘し、
YZRの実力を詰めかけた8万4千人の
大観衆にアビールしました。

暖かいご声援どうもありがとうございます
ました。今シーズンのヤマハの活躍に、
どうぞご期待ください。

※レースについての詳細は本誌25
ページのレーシングエキスプレ
スをご覧ください。

ハイポテンシャルが生み出す
もうひとつの世界

NEW TZR250 **ニューカラー**

カラー: ブイマックスブルー/スターシルバー

5月20日新発売

メーカー希望小売価格: ¥596,000

(北海道、沖縄および一部離島は除く)※この価格には保険料、税金(含む消費税)、登録などに伴う費用等は含まれていません。

ヤマハレーシングテクノロジーの粋を集めて登場、好評のNEW TZR250に、精悍で都会的なスポーツマインドにあふれたニューカラーが加わります。

ブイマックスブルーとスターシルバーの絶妙のコントラストが、走りに徹したNEW TZR250をさらに多くのお客さまにアピール。

ヤマハレーシングチーム伝統の赤白ストロボパターンとこのブイマックスブルー/スターシルバー、2バリエーションが揃ったNEW TZR250で、より幅広いお客さまをご獲得ください。





RACING EXPRESS in COLOR
実証YZRパワー!
'89世界GP鈴鹿レポート..... 2

●NEW MODEL
NEW TZR250 ニューカラー..... 4

〈特集〉
売ってます!売ってます!
魅力いっぱい'89ヤマハスポーツ..... 6

- 遊・YOUR・誘ショップ..... 14
- サービスマン日記..... 16
- 父から子へ、子から父へ..... 17
- お客さま登場 New TZR250..... 18
- ティーンズ最前線—高校入試..... 19
- クローズアップエキスパート **身だしなみ**..... 22
- 情報クリップ—お忙しい販売店さんにお届けする
最新情報コーナー..... 24
- レーシングエクスプレス..... 25
- トピックス..... 28
- インフォメーション..... 30
- from SAFETY..... 32
- パーツ&アクセサリーズ..... 33
- HOT SHOP 拝見..... 34
- THE LATEST AD..... 36



セールスカレンダー 5月~6月

5月	21日	6月	1日
5 金	こどもの日 立夏	22月	水無月
6 土	大安	23火	1 木 気象記念日 電波の日
7 日		24水 大安	2 金 写真の日 鮎解禁
8 月	世界赤十字デー	25木	3 土 横浜開港記念日
9 火		26金	4 日 大安
10 水	愛鳥週間	27土	4 日 大安 全日本モトクロス選手権 第5戦日本GP SUGO大会
11 木		28日	5 月 世界環境デー・環境週間
12 金	大安	29月	
13 土		30火 大安	
14 日	母の日	31水	
	TTフォーミュラ 世界選手権第1戦 全日本ロードレース 選手権第6戦SUGO大会 全日本トライアル 選手権第2戦九州大会		
15 月	沖縄返還記念日		
16 火			
17 水			
18 木	大安 国際善意デー		
19 金			
20 土			

セールス歳時記



新 緑もひとさわあざやかに日に映る5月、あわただしかったゴールデンウィークも終わり、ホッとひと息。しかし、ボーナス商戦がすぐそこまで来ています。春のC2大作戦で獲得できなかったお客さまへの再度のアプローチも含め、顧客リストをもう一度ねり直し、夏商戦への準備を計画的に進めましょう。

14日は母の日。奥さま対象の定期点検セールなどは月並みではありますが、地域と密着したご商売にはかかせません。ご無沙汰している主婦層へのアプローチも、この時期ならスムーズに行なえますね。

ぱい'89ヤマハスポーツ



季節感が薄れたとはいっても、若葉薫るこの時期こそ本格的バイクシーズンの幕明け。この春揃って発売の魅力な商品群に加えて、89モータースポーツ界でのヤマハの好調、さらには物品税の廃止で買いやすくなった軽二輪、中型二輪……全国各地の店頭からは、活気あふれる「89ヤマハスポーツ好調」の声が聞こえてきます。今回の特集は、そうした声の主をクロージアアップ。店主さんとお客さまそれぞれにご登場いただき、その理由を語っていただきました。また下段には、市場をさらに活気づける89YESSのイベントメニューも特集。ご参考にどうぞ。

NEW TZR250

真価の証明、SPLレースで
デビュー・ウィンNEW TZR250



2月26日、茨城県筑波サーキットでジュニアGP大会と併催されたSP250クラスでニューTZR250が見事なデビュー・ウィンを飾ったことは前号でもお知らせしましたが、なんとその後、西日本地区でのレースでもデビュー・ウィンを飾って大きな話題を呼んでいます。

3月19日、中山サーキット（岡山）で開催された地方選手権で高木千明選手（RC甲子園）が駆るニューTZR250は、多少キャブセッティングをしたのみというほとんどノーマルのままのマシン。4番手からの出走にもかかわらず、元気な走り順位を上げ12周目でトップに立つとそのままゴール。2位にも同じくニューTZR250を駆る竹原正樹選手（RCオレンジ）が入りました。

吸排気系、点火系のコンピュータ制御と後方排気のため、低回転から高回転までトルクフルな回転をするが、特に8500回転以上の回転域ではレーサーじゃないかと思うほどパワフルで伸びのよい特性だ。
（オートバイ4月号）

全開パワーを出し切った後の走行にも非常に安定感があり、YZR500感覚とヤマハ技術陣が表現していたことが実感としてよくわかる。
（ベストバイク4月号）

（ライダーズクラブ）

NEW FZR250R

キングK・ロバーツのお気に入り NEW FZR250R

F Z 250 フェーザー以来、ヤマハの4サイクル・クォーターモデルにも大変な興味を持ち、またそのオーナーでもあるケニー・ロバーツ氏が、専門誌向けの試乗会で「最高のクォーター」だとニューF Z R 250 Rを絶賛。

袋井ヤマハコース（静岡）を5周の予定だったテスト走行を、7周も回るほどの気に入りで「スムーズなパワーと好レスポンスを持ったグッドマシン。ハンドリング特性を含め総合的な運動性能がいいので、ライディングが実に楽しいマシン」と評しました。

もちろん、ニューF Z R 250 Rがキング・ケニーのコレクションに加わることは言うまでもありません。



速さは文句ない。操り心地も文句ない。高級感は外観だけでなく、走りの質にもある。十分に最高だと思う。
(モーターサイクリスト5月号)

エンジンは回しただけでパワーが湧き出してくる感じで、とにかく上から下までフラットな吹き上がり。ピックアップもいい。
(ヤングマシン4月号)

何度乗ってもこいつはスゴイ。なんてたつたつたの250、そしてこれだけ高回転にメカをふってあるつてのに、世間の常識を超えて、6速からでも平気で動きやがるのだ。
(ミスターバイク5月号)

とにかく軽くなったという印象は強烈。全体的な剛性をかなり高めており、マシンを自由に振り回せる。
(モトライダー5月号)

私がワインディングを走って楽しいなつて思ったのはF Z R。バイクのトータルバランスが高く、どんなに飛ばして走っても、心に（バイクに？）余裕が残った。
(レイスバイク5月号)

これだけ幅広い層を心ゆくまで楽しませてくれるマシンは滅多にない。250cc 4気筒のビギナー向けイメージを根底から崩すマシンだ。
(ライダースクラブ4月7月号)

NEW FZR400R

'88全日本選手権F3クラスチャンピオンマシン "YZF400"の直系NEW FZR400R

熟成を極めて登場、各専門誌からそのトルキーでスムーズな走りが絶賛をあげるニューF Z R 400 R。このマシンの魅力の秘密も、やはりサーキットで培われた技術のフィードバックにあります。

つまり、'88シーズン全日本選手権で塩森俊伸選手が駆り、2位に10ポイント以上の差をつけてチャンピオンを決めたヤマハファクトリーマシン「YZF400」が、F Z R 400 Rの生みの親。パワフルなエンジンと高い剛性を誇るフレーム、そして定評の足まわりと、すべてがYZF400の直系です。



ブレーキもサスも、イチャモンが付くようながない。とにかくこいつは速い。文句なく速い。そして文句なく乗りやすい。400のレプリカとしては恐らく最高の出来だ。
(ミスターバイク5月号)

マシン側から言えば「俺が安定して走ってやるから、ライダーのキミは、スムーズにアクセルを開けてやってくれ、全開でもOKさ」となる。
(モトチャンプ5月号)

高度なアナログ感覚のマシンとして、究極の域に、また一歩近づいたようだ。

限界は高いが、「荒々しさ」とは違う。「優しさの高性能」なのだ。
(ロードライダー5月号)

エンジンの出来がよくてフレームのバランスがいいということは、街中だって高速道路だって乗りやすいということ。
(モーターサイクリスト5月号)

コントロールマージンが、他のマシンよりも大きいこともあって、公道で楽しめる対応幅が広いのもF Z Rの特徴的なキャラクターである
(ライダースクラブ4月7月号)

サーキットランをセッとした 豪華イベントをタイムリリーに

山口玩一社長（YSP成城・YSP東京南/東京都世田谷区）

「ニューモデルが発表されると、機種にかかわらず必ず試乗車を用意します」
試乗車の効果はいうまでもありませんが、YSP成城さんのサービスは特に徹底しています。第三京浜や東名高速に近いせいもあって、安全面での十分な指導

のもとに希望者は1〜2時間かけて高速走行を楽しめるといふもの。ときには、ツーリングに使うからと2〜3日借りていくお客さまも。
そのために、あらゆる事態に対応できる保険がかけられています。もちろん年齢



これから購入を考えているお客さまの質問にも、親切に答える山口社長(写真中央)。YES(ヤマハ・エンジニア・ショップ)の会長も兼任しています



制限なし。試乗する方には、事情を話して保険料の一部を払っていただいています。保険料負担だけでも数十万円に達するそうです。
「負担は小さくないのですが、迷っているお客さまにとっては、高速道路での試乗は何よりの決め手になるようです」
こうした考え方の一環は、サーキットランを組み込んだイベント提供にも表れています。商圏を接する販売店さん14店で作っているY・E・S(ヤマハ・エンジニア・ショップ)では、毎年一回サーキットランを企画。今年は4月9日袋井ヤマハコースで、ニューモデルを使用し行なわれました。参加人員に制限があるため、YSP成城さんからは5名、全体で100名の方々が新しくなったTZ R250、FZR R250R、FZR R400Rの走りを満喫。
「この走行だけでもかなりパワフルな販売になります。つま恋1泊の豪華イベントですから、グレードの高いレジャーを求める層に強くアピールしています」



スポーツバイクの拡販に
YES
フレイメニューを!!

YESでは、スポーツバイクの販売促進策として、さまざまなフレイメニューを用意しています。ぜひご利用ください。

『89チャレンジ3000キロ・キャンペーン』

●話題沸騰ノ エントリーテーマ

3年目を迎えたチャレンジ3000キロは、スタッフのチャレンジ・スピリットを刺激するエントリーテーマの新設で、過去最高の盛り上がりを見せています。8文字のテーマをスタッフ自身が創作できるとあって、店頭で、WAY誌上でYESスタッフの冒険心やユーモアセンスが大爆発。店頭のナイスライディングチャートから話題が広がり、新規のエントリースタッフも続々と誕生しています。その中から、楽しく夢あふれるエントリーテーマを、いくつかご紹介してみましよう。

●交通安全をテーマとしたもの

君のため安全運転 チャレンジ1000キロ

(中野重五郎さん/広島県)

無事故で走るぞ! チャレンジ3000キロ

(吉崎浩樹さん/東京都)

●ロマンをテーマにしたもの

海へ山へ恋の冒険 チャレンジ3000キロ

(古林政人さん/岡山県)

いつかはバリタカ チャレンジ3000キロ

(沼田昌晴さん/宮城県)

●日常生活をテーマにしたもの

究極の2サイクルって 感じます



森田邦夫さん(19歳・会社員)

FZ250Rに乗っていたんですが、同じ2サイクルでも乗り味が違いますね。より走りに徹しているというか、独得のスポーツフィーリングを感じます。乗りこなす楽しみがありますよ。



佐藤弘美さん(20歳・会社員)

後方排気の迫力に負けました。女の子じゃ扱えないかと思ったけど、すごく乗り易いんでビックリ。今度はこれでサーキットランに行きたいな。



中山克明さん(26才・会社員)

旧TZRからの乗り替えですが、スタイリングの良さを裏切らないパワー、加速、ハンドリングが好きです。走ることで増々好きになってしまおう。



田中樹由さん(22歳・学生)

ニューTZR250を初めて手にしたとき、思わず震えが来ました。レーサーそのもののスタイル、ポジション。直線ののび、旋回性、迫力ある排気音。誰だってその気になりますよ。これほどとは思ってませんでしたね。

お客さまも大満足 NEW TZR250

スタイリングの良さを裏切らない走り!



軽さとパワーがマッチしています

浅井謙次さん(36歳・会社員)

軽くて乗りやすいです。軽さとパワーがマッチしているというのかな。それにブレーキがいい。握ったら握っただけきくので、安心してシコーナーに入れます。

2スト・後方排気・スタイ リング……もう、最高です。



村田礼司さん(29歳・会社員)

FZR250に重っていましたが、後方排気が出るんじゃないかって、待ってて買いました。徹底的に走るのが目的の私には2ストロークがぴったり。TZRそのままのスタイリングも最高です。

だれでもその気になるバイク

数あるYESSのブレイメンニューの中で、最も人気が高いのがこのJETツリーリング。ライダーとバイクを同時に目的地まで空輸する、YESSが開発した画期的なツーリングシステムです。

人気の秘密は、目的地までの移動時間を大幅に短縮するため、お忙しいお客さまも自分のスケジュールに合わせ、短期間で北海道や九州、沖縄などの遠距離ツーリングが楽しめるようになったことにあります。ご利用料もYESSならではの特別設定、さらに目的地でYESSの提携施設を利用すれば、さまざまな特典が受けられます。

また宿泊プランもセットされたツアーも実施中。ニュースポーツの拡販にご活用ください。



●短尺スケジュールで遠距離のツーリング

《YESS JETツリーリング》

トヨタ手づくりのチャレンジ3000キロ
(戸田陽来さん/栃木県)
私は花の女子高生チャレンジ3000キロ
(大木英子さん/東京都)
みなさまのお店でも、おもしろいエン
トリーターマ・コンテストなどを開いて、
一層の盛り上げをお願いします。

自前の試乗車3台を使った

比較試乗で各車の個性をアピール

鶴見正徳社長 (モト・ハーバー) 鶴見 / 愛知県江南市

FZR250R / 400R、ニューTRZ250それぞれ1台ずつ計3台の試乗車を用意して、地元の雑誌2誌に告知広告を出すなど積極的な誘店策に力を入れていたモト・ハーバーさん。すでに、100人を超える試乗希望者を集め、拡

販のしかけは上々です。「この3車種は、ヤマハも相当な意気込みで出したモデルですから、ウチとしても力が入りますね。それで試乗車を3台まとめておろしたわけです。やっぱりお客さんを納得させて売るには、乗っても

らうのが一番だし、性格の違う3台それぞれ乗り比べられるから一層効果的です。ね。実際、ひとり2〜3車種乗ってみる人がほとんど。特に、400Rは乗り比べるとその良さが一目瞭然。定成度の高さが分ります。また、本当に自分が扱えるものを選べるので、安全面を考えても有効ですよ」と語る鶴見社長。あとはここで来店したお客さまをどうフォローして販売に結びつけるかがポイントになります。

「試乗に来たお客さんは、その場で買うことはまずありません。ですから、もう一度来店したくなるよう、気持ちよく乗せてあげることが大切ですね」それには、試乗した日に成約させようというような気持ちを持たず、気軽に割り切って乗せてあげること。お客さんはその辺を敏感に感じとってしまいますから。

ウチでは、初めて来店したお客さんでも、常連のお客さんと同じように気軽に話しかけ、修理の代車を貸すような感じで試乗させるよう心掛けてます。その点でもうまくいっています。あとは成果を待たばかりといったところですね」



お客さんに、2度、3度来店したくなるよう気軽に乗せてあげるのがポイント

Y.E.S.S.ステーション・ツーリング

- 参加資格 / Y.E.S.S. スタッフ
- 参加車種、メーカー不問免許証のある人
- 参加費用 / 500円 (別途消費税を申し受けます)

Y.E.S.S.ステーション開設スケジュール

5月	14全日本RR⑥ TTF1 (SUGO)	9月	3全日本MX⑩ (近畿)
	28全日本TR③ 日本GP (中部)		17全日本MX⑪ (中部)
6月	4全日本MX⑥ (SUGO)	10月	15全日本RR⑬ビッグロード (SUGO)
	11全日本RR⑧ (鈴鹿)		29全日本RR⑯MFJ・GP (筑波)
	25全日本RR⑨ (筑波)	11月	5スーパーズプリント (FISCO)
7月	9全日本MX⑦ (北海道)		
	308H耐久 (鈴鹿)		RR=ロードレース
8月	20全日本MX⑨ (四国)		MX=モトクロス
	27全日本RR⑫ スーパーバイク (SUGO)		TR=トライアル

YESSSステーション・ツーリング

モータースポーツファンがますます急増する中で、今年で2年目を迎えたYESSSステーション・ツーリング。各レース場でYESSSの情報基地として活躍中の移動型インフォメーションセンター・YESSSステーションを目的地とした、まったく新しいタイプのツーリングシステムです。

レース観戦の際にこのシステムを利用すれば、最高600万円のツーリング保険に加入(本部事務局負担)され、さらに参加特別記念品のプレゼントやイベントの参加など、目的地でさまざまな特典が受けられることになっています。また今年からは小型ステーション・YESSSステーションIIも稼働しており、ますますその行動半径を広げています。「走る・観る・遊ぶ」楽しさを凝縮したYESSSステーション・ツーリングをぜひレースファンのお客さまにご案内ください。

お客さまも大満足 NEW FZR250R



これは400クラスの 所有感

井上賢一さん (25歳・会社員)

本当は400に乗りたかったんですが、諸々の都合で250にしました。ですけどFZR250Rは250で我慢するという感じは全くナシ。車格も質感も1クラス上。所有感は400クラスです。これは満足できますね。



足着きがよくて乗りやすい
とても気に入っています

乗りやすい/スピードも出るし、ギヤも楽。ブレーキのききが早くて安心。それにシート高が低くなって足つきがいいんです。今日は、サーキットだったから120km/hくらいで走ったの。気持よかった!!

自分がうまくなった 気がするバイクです

服部結花さん (24歳・アルバイト)

はっきり言ってひと目ボレ。カッコイイし、すごく乗り易いんです。乗るのに技術がいらないというか、思ったとおりのコースを、思ったとおりのスピードで走れる最高の一台ね。



250とは思えない ボリュームとパワー

谷口善久さん (47歳・会社員)

ボリューム感と予想以上のパワーに驚いています。先日も房総を450kmほどツーリングしてきて、ポジションの良さ、トルク感と取りまわしの軽さなど大満足でした。



これは5台目の FZRです

生部敏彦さん (26歳・会社員)

フェザーから初期のFZR250に乗りかえ、全ての面で気に入ってから、私はずっとFZR250です。型がかわるごとに良くなっていますね。'89モデルはエンジンに余裕がありますね。吹け上がりもスムーズそのものです。



YESSステーション
運営スポンサー



地方イベントにも登場する
Y.E.S.S.ステーションII

YESSパラグライダー
1・ツーリング

●高原ツーリングと
スカイスポーツをドッキング
ツーリングに旅プラスアルファの楽しさ
を持たせるため、YESSではいま話題の
スカイスポーツ、パラグライダーとツーリ
ングをドッキングさせたパラグライダー・



店舗オープン記念イベントに店頭試乗会 顧客データの収集もバッチリです

浅倉茂輝 店長 (YSP吹田/大阪府吹田市)

桜満開の4月8日、まさにスポーツバイクシーズンの開幕に合わせてオープンしたYSP吹田さんでは、話題づくりとスポーツ車の拡販を兼ねて、オープン記念



オープン記念のニューモデル試乗会は大成功。朝早くからお客さまが詰めかけていました

のメインイベントに店頭試乗会を行ないました。「スーパーデビューフェアで盛り上がりつつある市場の波に乗り、さらに大きな波



先導車で誘導するなど安全面もしっかりとフォロー



店頭試乗会で拡販を進める浅倉茂輝店長

で店頭を活性化できればと思行ないないました。

4月8日と9日の2日間でのべ100名の試乗者があり、試乗後のアンケートでデータも十分です。これから、そのデータを元に、電話アプローチを行ないます。

ニューTZR250、ニューFZR250R/400Rとそれぞれ個性的なので、ビギナーからベテランまでお客さんに合せた売り込みができますよ。どのモデルも試乗後の評価はいいですからね。

特にFZR400Rについては、若年層からの支持が高いので力を入れていきたいと思っています。店もオープンしたばかりですし、若いお客さんともに育てなければうれいすからね。

店のイメージづくりも商売の基礎づりもやるのは今、89ヤマハのスポーツモデルで作っていいこうと思っています」

ツーリングを実施しています。

パラグライダーは、パラシユートとグライダーの爽快感をミックスさせたニュージャンルのスポーツ。いまや高原のリゾート地では定番のブレイアイテムとなつています。全国5カ所の提携スクール(A・B級ライセンス取得可)の利用と、1泊宿泊のパックコースが若いお客さまに大人気。ニュースポーツでの高原ツーリングと、トレンディなスカイスポーツをお楽しみください。



YESS特別企画 九州フェリー特別チケットプレゼント

●魅力のプレゼントで、さらなる市場定着を既存モデルの再拡販を目的に、春の新车需要期に合わせて展開中のTDR250九州フェリー特別チケットプレゼントも、実施期間が、残り1ヵ月となりました。

九州はツーリングスポットの人気投票で、北海道に続く第2位にランクされている人気ゾーン。お客さまのツーリングマインドを刺激するこのキャンペーンを活用して、TDR250のさらなる市場定着をお願いします。

お客さまも大満足NEW FZR400R



カウルの効果にビックリ!!

丸山文昭さん (24歳・会社員)

前に乗っていた限定モデルのFZRより、エンジン、車体、足まわりなど全ての面で性能アップされてますね。特に感じるのはカウルの効果。高速走行はバイクがグッと下に押しつけられるようで快適です。



低速でのパワーに驚き
ギヤを間違えても大丈夫ですよ

立花慎一さん (30歳・学校職員)

軽くてブレーキがよくききますね。それと低速でもググッと走るのに驚いています。やや前傾の姿勢も気に入っています。シートのスペースがあるので、ポジションは自由にとれます。

免許取りたての私でもラクに乗れるバイクね

海老井まゆみさん (23歳・エステティシャン)

気に入ったのはスタイル。ほかのにしようと思ってたけど、ひと目見てコレに決めちゃったの。大きく見えるけど、乗ってみるとすごく乗り易い。私でも十分扱えるわ。弟と共用で買ったけど、貸したくなくなっちゃった!



パワー+ハンドリングの絶妙なマッチング



西条和久さん
(32歳・自営業)

なにしろ乗り易いんです。余裕あるパワーは申し分ないし、直進安定性もコーナリング安定性もバツグン。バランスがいいっていうのかな。最高ですよ。

乗り比べればわかる、この速さ!

山上裕太郎さん (16歳・高校生)

なんとんでもこのパワーが最高。追い越しながらアクセルひとひねりでも十分だし、車体の安定感もバツグン。友達の他の400と乗り比べたけど、段違いに乗り易いし速い。もう他のバイクには乗れないね。



●お店の信頼感を高めましょう!!
安全運転気運がますます高まるなかで、YESスタップの安全意識高揚とだれでも参加できるイベントの実施によるスタップ拡大を目的に展開中のNICE RIDE (ナイス・ライド) 募金。
YESショップのみなさまの店頭にも募金箱を設置させていただいておりますが、集まった募金は12月に本部事務局に集約され、YESスタップの手から財団法人盲導犬協会に寄付されることになっています。
このような社会的意義のある活動は、お店の信頼感を高めます。ぜひキャンペーンに積極的に取り組み、お店の姿勢をアピールしてください。

RYESS NICE
RIDEES募金



Y.E.S.S.

楽しさでお客さまを魅きつける

遊・YOUR・誘

SHOP YSP大和 柴崎義雄 社長
(神奈川県大和市)

MP-12レースは お客さまの自主運営主導が一番!

レースが終わると、みんなが店に集まり報告会となる(中央が柴崎社長)



'86年5月にYSR50が発売されて以来、またたく間に全国へ広がっていったMP-12レース。その人気のヒミツは、誰れもが手軽にGPレーサー気分を味わえるところにあります。今ではミニバイクレースの代表格としてすっかり定着し、全国各地でさまざまなシリーズ戦が展開されているほど。

今回ご紹介するYSP大和さんも、このMP-12レースにいち早く目を向けたお店のひとつですが、その活動のすべてはお客さまに任せきってしまう、ユニークな方針が特徴のお店です。

「ウチがMP-12レースに参加し始めたのは3年前。YSR50が'86年の春に発売されたでしょう。ちょうどその時からですよ。当時、ヤマハのワークスマシンYZR500にそっくりのミニバイクが出た!というのでYSR50の気持はすこかった。コレでレースなんてやったら、さぞかしおもしろいだろう、と誰もが思ってしまったね。それで、たまたまスクーターレースと一緒にYSR50のレースをやるって話を聞いた時、じゃあ試しに店のYSR50を1台、レース用に出すから参加してみようってことになったんです。で、お客さんと一緒にやってみたら、大ウケしちゃって笑)。常連の人を中心に、お客さんがみんなYSR50を買っちゃっ

きっかけはYSR50の登場

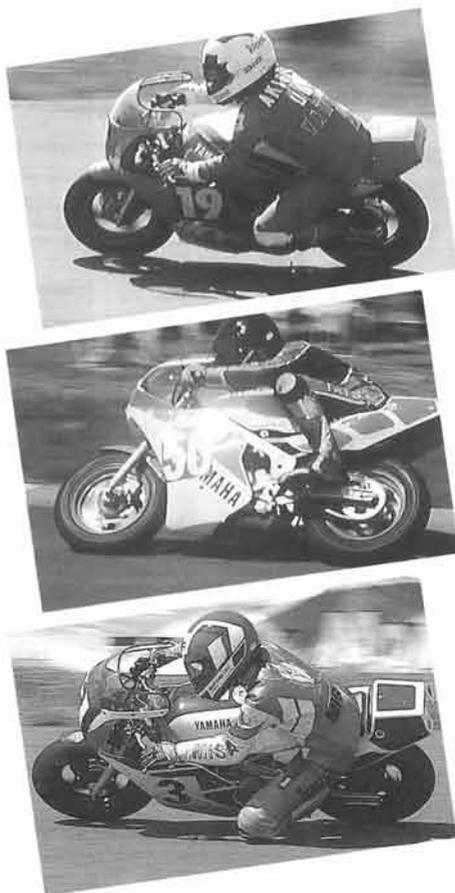
た(笑)。そうになったら、もうやめられないよね」と柴崎社長。それ以来「RT・ラディカル」というレーシングチームを作り、活動を続けているわけです。

しかし、特徴的なのがこのチームの運営方針。柴崎社長をはじめ、お店の人は全員ノータッチで、完全なお客さまによる自主運営を行なっているのです。

「私たちが、ああしよう、こうしようと言って、店のイベントとして活動するよ、チームのリーダーを決めて、お客さん同士がものごとを決定し実行するほうが、結果が固く不平不満も出にくいものなんです。

だからレースについても同様。チームのミーティングの時に、次のレース参加計画を自分たちで決め、チーム員だけがサーキットに行く。私たち店の者はひと





バイクのメカニズムがわかってくると、自然とレースに勝てるようになった



メンテナンスでわからないことがあると、社長が気軽にアドバイスしてくれる



サーキットでのマシンのセットアップは、全て自分たちの手で行なう

チームの自主運営は理想的な形

このチーム員自主運営方式は、お客さまのフォロー策のひとつとしてMP12レ

「部品の割引などもありますね」
 といえ、店がなにもしないわけじゃなくて、月2回のミーティングには私も参加するし、サービス工場も店の仕事に支障がない範囲で、チーム員が自由に使えるようにしてあります。それと用品、

りも付いて行かないんです。だから、ピット作業やマシンのセットアップなどもすべて仲間が助けあってやるわけ。おかげでメンバーの多くは、自分のマシンの面倒くらい、自分ひとりでごなせるようになってますよ笑。
 誇らしげに並んでいます。

「お客さんが、こうして楽しんでくれさえすればそれでいいんです。もともとは、お客さんの遊ぶ場を提供するのが目的です。それが、お客さんの固定化につながり、ほかのお客さんを誘店するのに役立つというわけだし、最大のメリットと言えるでしょうね。」
 「お客さんが、こうして楽しんでくれさえすればそれでいいんです。もともとは、お客さんの遊ぶ場を提供するのが目的です。それが、お客さんの固定化につながり、ほかのお客さんを誘店するのに役立つというわけだし、最大のメリットと言えるでしょうね。」

「お客さんが、こうして楽しんでくれさえすればそれでいいんです。もともとは、お客さんの遊ぶ場を提供するのが目的です。それが、お客さんの固定化につながり、ほかのお客さんを誘店するのに役立つというわけだし、最大のメリットと言えるでしょうね。」
 「お客さんが、こうして楽しんでくれさえすればそれでいいんです。もともとは、お客さんの遊ぶ場を提供するのが目的です。それが、お客さんの固定化につながり、ほかのお客さんを誘店するのに役立つというわけだし、最大のメリットと言えるでしょうね。」

サービスマン日記

今日も笑顔でガンバル販売店さんの
サービスマン奮闘記

“機械の修理が仕事でも、 機械的な仕事”をしてちやダメなんだ。

一日も早く、一人前のサービスマンになりたいとがんばっているトシオ君。前回の保険取扱い資格試験をどうにか切り抜け、今度はYTS2サイクルマスターに挑戦です。一発合格を狙うぞ、意気盛んなところを見せていました。



○月×日——今日はYTS2サイクルルマスターの講習会初日。会場はヤマハの城東営業所内にある研修センターだが、車で通うのに少なくとも1時間半はかかる距離である。いつもの通勤時間に比べると数倍だから、結構大変だ。

さて、研修が始まってまず始めに、軽頭の体操。つまり小テストのようなものをやらされたわけだ。ベイスックで習った基礎を覚えていなくて、なかなか良い点数がとれない。けっこう覚えていたつもりだったが、スラスラとは書けなかった。

これがかどうかこうにか終わるとようやく昼休み。昼食をとって、ほかの受講者の人達と雑談する。東京近辺のいろいろなお店からサービスマンが集まってきているのだが、ほとんどの人はボクより年上。話の内容もさまざまだ。その中で、他店の様子やその人の作業ぶりなどを聞くと、いろいろ驚くことばかり。例えば修理の作業手順にしても、「自分のやっている方法があたりまえ、それが普通」と思っていたことが、全然異なっていたり、あるいは、ウチの店ではあまり人気のない車種が、よその店ではすごく売れているたり……。妙に感心してしまう。

午後からは実習。エンジンを分解してまた組み上げる作業。とたんに周りの人の目の色が変わってきた。ボクも負けじとエンジンに取り組み、日頃感じたことのない緊張の中で、1日を終えた。

○月×日——講習会2日目、どうもいつものリズムと違うので、サービスマンと

いうより、学生に戻ったような気分。昨日と同様、実習を続ける。相変わらずみんなテキパキと作業を進めている。ボクはやや遅れ気味だが、今日はなぜか落ち着いている。周りのペースを気にせず、自分なりの速度で作業することができた。

○月×日——いよいよ今日が講習の最終日。ようやく組み上げたエンジンの調整測定をして始動。よし大文夫、しっかり動いた。再び調整。測定を済ませて実習完了！ そのあとはいよいよヤマ場、YTSマスターの資格試験だ。

四苦八苦しながらテストに全力を傾け、どうやら終了。あとは結果を待つばかりだ。ああ、疲れた。

○月×日——保険取扱いの資格試験結果がでた。合格だ！ ほっと一安心。随分と苦労したかいがあった。

○月×日——先日に続いてYTSマスターも合格の通知！ やったぜ、一発合格だ。社長や先輩たちはエラく驚いていた。でもホント、みなさんの協力のおかげです。ありがとうございます！ 今後はマスターの肩書きに負けないよう、きっちりとした仕事を心掛けないと。

それは、とりもなおさずYTS憲章にうたっている「お客さまに喜ばれ、安心して頂けるサービスマン」ということ。何をしたら、本当にお客さんが喜んでくれるかを考えて作業することだろう。ただ単純に言われたままに、機械的にこなすだけじゃダメなんだ。

親子2代でガンバル販売店さんの親の意見、子の言い分

今ではもう全部息子まかせですよ、とおっしゃる古田正行社長と、時代に合わせていろいろ店づくりを試したいと意欲的な息子・忠さんのお店をご紹介します。

ボクが店に入ってから、もう7年になりましたが、店もお客さんも随分変わりましたね。自転車しか扱わなかった店にバイクを入れたり、オヤジが全く無関心だった店舗に気を使ったりして、若いお客さんも増えましたから。

でも、本当は家業を継ぐんじゃなくてスーツ着てオフィスで仕事したかった(笑)。それがいつの間にかオヤジのルールに乗せられてた。高校を出て4年間、大阪にある自転車のプロショップで修業して店に戻ったんです。その頃知り合ったお嫁さんを連れてね(笑)。

大阪で得たことは多いです。バイクを扱うことを覚えたのもそうだし、オヤ

ジの商売とは違うやり方を身につけたのもそう。ウチは今まで昔ながらの掛け売りが多かったんですよ。修理なんかにしても全部ツケだったりしてね。それをきちんと現金商売に変えたんです。まあ、このあたりもサラリーマンが増えて、昔の家内工業的な感覚が薄れてきたせいもあったんですが。

この頃ではかなり今風の店になりましたよ。これからは、もっと若いお客さんを増やして、スポーツ車なんかのユーザーを集めたい。だけど、そうカンタンにはいかないと思うし、客層の変化を見ながらそれに合わせて品揃えを変えていく、柔軟な店づくりをしていきたいですね。

臨機応変な店づくりをしたい



YOU SHOP 八百トメサイクル

愛知県一宮市



父 古田正行 社長 (55歳)

もっ私には口出ししませんよ

もともと自転車一本やりだったんですよ。それが、バイクを扱うようになったのは息子が店に入ってから。だから私はバイクのことはよくわからないんです(笑)。全部息子まかせ。自転車のほうも、だいたい息子がやりますよ。私は手が足りなくなったら手伝う程度。経営のことにしたって、息子がかなりわかっていますから相談しながらやります。

最近、消費税導入で騒がしかったでしょう。ウチも3月中は駆け込み需要が31日まで続きましたけど、じゃあ4月1日から売れなくなったかという、そんなに変わらない。お客さんが混乱しないよ

う、価格表示をきちんと口頭でもちゃんと説明するように心がければ、影響は少ないと思います。そうすれば、そのうちお客さんも慣れてくるだろうから心配ないでしょう。そのあたりも息子はちゃんと心得てるんでしょね(笑)。

だけど、この先は息子がやりたいように任せるしかない。今までも、いろいろ息子が店を変えてきたし、それがどうやらうまくいっているから大丈夫でしょう。私が店を受け継いだ時は、オヤジはスバツと店から手を引いて、ああだこうだと言いませんでしたから、私もそうすることにしますよ(笑)。



子 古田忠さん (29歳)

お客さま 登場

NEW TZR250

5カ月間、
本当に待った甲斐がありました。

伊藤聖子さん（静岡県藤枝市）

●23歳・会社員・独身●所有免許・
中型二輪●二輪乗車歴・1年6カ月
●ニューTZR250・平成元年3
月15日購入●購入店・YSP焼津●
ニューTZR250以外の所有車・
TZR125・50ccスクーター

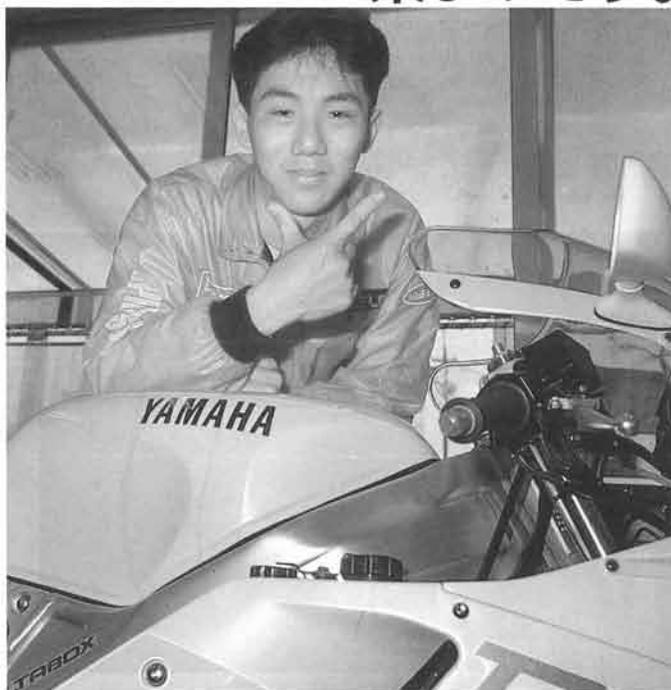
中型免許は去年の10月に取ったんです。本当は、免許を取ってすぐ4ストの400ccに乗るつもりでした。それが、YSP焼津の店長さんに「今度出るTZRは後方排気だよ。絶対いいから待ってみたら」と言われて、すっかりその気になっちゃって。結局5カ月くらい待ったかな(笑)。

レーシーなイメージが強いですけど、とても乗り易いんです。タンクがぐつと絞り込まれているから、すごくニードリップしやすいし、身長160cm以下の私でもちゃんと足が届きます。ツマ先ですけどね(笑)。もちろんレーシーな部分も気に入っています。7000回転以上はスゴイの一言。加速感も排気音も最高ですね。慣らしの途中なのに、つい回し過ぎちゃう(笑)。

実は先日駐車場で立ちゴケしちゃったんです。恥ずかしくて、悲しくて、でも、幸いキズがつかなくてホッとなりました。何より、マフラーが無キズだったのは「うん、これも後方排気のメリットだ」なんて感心したりして。関係ないか……(笑)。



サーキット走行が
楽しみです。



脇田真司さん（愛知県一宮市）

●19歳・学生・独身●所有免許・中
型二輪・普通車●二輪乗車歴・3年
●ニューTZR250・平成元年3
月24日購入●購入店・ビットイン支
店●ニューTZR250以外の所有
車・チャンプRS

ボクは、子供の頃からバイクが好きだったから、16歳になったらすぐ原付免許を取ってYSR50でミニバイクレースを始めたんです。その頃からのヤマハ党なんです。ヤマハ車のつくりがボク好みだし、平選手や藤原選手の影響も強いですね(笑)。

だから、今まで持ってた4ストマルチの400ccを買い換えようと思った時、今度は2スト250ccスポーツ車にするつもりで探したら、目についたのがこのニューTZR250。迷わず

即決しましたよ。

何が気に入ったかと言えば、それはもう後方排気の迫力ですね。まさしくロードレーサーTZR250のフォルム。フレームやスイングアームの質感も高いし、さすがヤマハの自信作。もちろん、エンジン性能も最高。高回転域でバーンと伸びる加速力が魅力たっぷりですね。それと身長180cmのボクでも窮屈でないポジションが、TZRを選んだ理由のひとつ。なにしろ、気に入ったところが多すぎて、例えば友達に勧めようとした時、何と説明したらいいか困るくらいです。

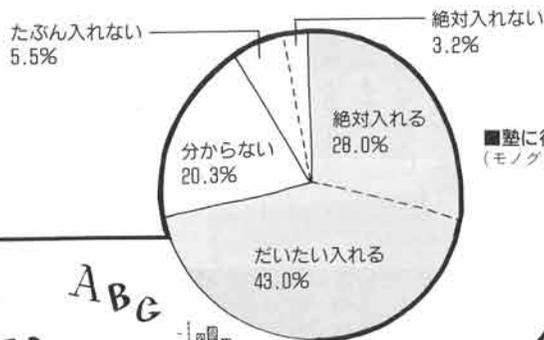
主な使い途は、街乗りとサーキットランかな。レースが好きだから、サーキット走行練習を積んで、いずれはF3レース出場をめざしたいですね。

ティーンズ
TEENS最前線

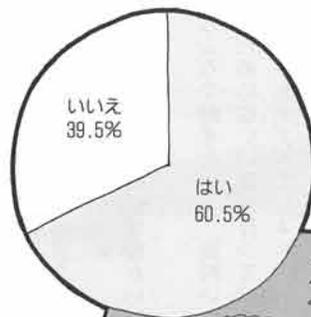
若者たちはいま...

いい会社で働くためには、
いい高校に入らなくちゃ。
だから、いま頑張るんだ
若者たちの

15の春 高校入試



■塾に行かなくても、志望校に入学できるか(表-2)
(モノグラフ中学生の世界・福武書店)



■現在、塾に通っているか(表-1)
(モノグラフ中学生の世界・福武書店)



受験戦争は本当に戦争なのか

中学生の問題を考え始めたら、必ず高校入試に突き当たります。学業成績はもちろんのこと、部活動、非行、そして友達つき合い、あるいは親子関係など、どの側面を覗いても高校進学の問題が影を落としているからです。この中学生生活のメインイベントともいえる高校入試を、この春3年生が上がったばかりの中学生たちの声から探ってみました。

「いまの子供たちってかわいそう。受験戦争とか、内申書とか、そんな言葉なんて私たちの時代にはなかったものね」
受験生の子供を持つ親たちから、こんな言葉をよく聞きます。

「同じクラスの〇×君が、進学塾に行き始めたんですって」

なんて話になったらもう大変、自分の息子や娘は行かなくていいの、心配で気が気でなくなってしまうのです。

確かに受験は年々厳しくなっているようですし、受験にまつわる暗いニュースも、時折新聞記事で目にします。また、

学校からまっすぐ家には帰らず、そのまま塾へ直行という姿も、すでにごく普通の中学生のライフスタイルとなりました。

しかし、本人たちにとって勉強や試験、進学などの問題は、本当に大人たちが思っているほど深刻なものなのでしょうか。

以前テーマに取り上げたアイドルラントを追いかける姿や、深夜、友達との長電話にふける彼らの姿を思い浮かべると、

どうも「戦争」に巻き込まれているとは考えにくいのです。

まず、表・一をご覧ください。現在塾に通っている中学生は60・5%、しかも「いいえ」と答えた回答者の中には「以前に通っていた」人や「今後行きたい」人も含まれていますから、ほとんどの中学生は塾の利用経験があると考えて間違いないでしょう。

なるほど、これだけたくさんの中学生在が校外学習を実践しているのですから、これは戦争と表現したくなるのも分かります。しかし、表・二を見てみますと、塾に行かなくても希望する高校に入れると思っっている通塾中学生が71%（絶対、だいたい合計）もいるのです。

このあたりを中学生に聞いてみますと、「親が行けって言うから」「仲のいい友達が行き始めたから」という答が返ってきます。

塾に通う中学生が全員という訳ではありませんが、通塾というのは、むしろ友達とのコミュニケーションを深めるための行動と考えられるのです。

受験戦争という言葉は、当人たちから発生したのではなく、マスコミや親、教師たちが造ったものではないでしょうか。

受験勉強は辛くない!!

それではまず、15の春を迎えた男子生徒グループの話聞いてください。

※ 「高校受験を意識し始めたのは、中一の終わりぐらいかな」

※ 「頭よくなりたいんだ。いい高校に行きたいから」



晴れて4月を迎えた新高校生。「受験が終わったら〇〇したい!」と思っていたことは、実現されないケースが多い

「いい高校ってどんなところ?」

「偏差値の高い学校」

「どうして偏差値の高い学校がいいの?」

「いいところで働きたい! 給料いいから。そのためにはいい高校行って、いい大学行かなくちゃダメでしょ」

「いいところで働けば、安定してるじゃん。お母さんもそう言ってる」

「そう、親が言うんだ。お母さんたちみたいに若い時勉強しないと、将来苦労するよ。って(笑)」

「でも一流大学に行かなくても、他にいろいろ道があるじゃない」

「何するんでも頭よくなないとダメなんだ。だからいまのうちに勉強しとくの!」

「勉強嫌だと思わないの?」

「思わないよ」

「えーっ、俺は嫌だな」

「そう? 俺も最初は嫌だったけど、や

りたくなるもんだって。お前もすぐやりたくなるよ」

「どうして?」

「だって大人になって困るのはもつと嫌だろ? 気がついたらやりたくなるんだから」

「そうだよ、いま勉強しないとあとで後悔するぞ」

※ いかでしよう? あまりにも当たり前で、できすぎの答えに聞こえませんか? 彼ら中学生は、現実の社会をまだ体験していません。将来の姿はおぼろげながら見えていても、まだ手探りの状態であるが故に、親や先輩、教師といった実社会経験組の言葉だけが、彼らの思考を支配しているのです。

※ 「いま勉強しないと後悔するぞ」と言っただけの子にしても、まだ彼は後悔を経験した訳ではありません。親や教師がそう言っ

15世代だって入試が近づけば急に信心深くなってしまふ。



たから、そう思っているのでしょう。

このような、社会の先輩たちの言葉とは別に、受験の厳しさを実体験として目のあたりにした子もいます。

「私のお姉ちゃん、短大受かんなくて泣いちゃったの。大変だなんて思った。私もいまからしっかり勉強しなくちゃってね」

いずれにしても、彼らは勉強を「苦しいもの」や「辛いもの」とはあまり感じていないようです。自分の将来のためと納得し、勉強は必要なものと感じているからでしょう。

「競争慣れ」と「試験慣れ」

高校入試はとても複雑です。中学生たちが受験に熱心に打ち込んでいるのは確かですが、受験が終わると、どの生徒もなんらかの学校に進学していきます。彼らの言う「いい高校」へ入学したからといって、それが明るい未来を約束するわけでもないし、偏差値の低い高校へ入ったからといって、挫折するものでもありません。いわば、勝者も敗者もないのが高校入試なのです。

幸い日本には、出生による階級づけがありません。生まれた時は、皆がチャンスを持っているのです。それが良い意味で競争を生み、今日の繁栄に結びついているのでしょう。

このような環境の中で子供たちも自然に競争心を覚え、中学生で具体化し、その成果を初めて試みるのが高校入試という機会となっているのです。

彼らが思いのほか勉強や試験を苦にしないのも、このような「競争慣れ」や「試験慣れ」をしているからなのではないでしょうか。

15の春 志望校決定までの過程(東京都公立中学校のケース)

4月
父母会で進路選択、高校入試についての詳しい説明がなされる。この際、前年度の進学状況を含めた資料が配られ、高望みしないように、しかしこれからの努力で大きく変われることが強調される。
業者が実施する模擬試験がスタート。学内順位、学区偏差値、都標準偏差値が記入される。
5月
会場模擬テスト実施。実際の入試に近い環

境でテストを受ける。このテストでは通学圏から見た適正校がはじき出される。
第1回目の進路希望調査書を家庭から提出する。
7月
第1回目の三者面談(担任教師、生徒、保護者)実施。教師からはっきりと、どの高校は無理だからあきらめるように言われる。
9月
担任教師と生徒の個人面談実施。教師がかなり強い調子で、生徒の受験すべき学校を

「指導」する。この場で決定しない場合、4～5回同様の面談が行なわれる。

12月
2回目の進路希望書を提出。
2回目の三者面談実施。この場で受験校を決定。
2月
高校への願書提出。受験。

※日本の中学生・日本放送出版協会刊より

人の数だけ職があり、職の数だけ人がいます。あらゆる分野のエキスパートにご登場いただき、その練達した仕事ぶりを拝見する『クローズアップ・エキスパート』。ご商売のヒントを見つけてください。

身だしなみ ——ニュースキヤスター 松尾紀子さん

画面を通して毎日会っているにも関わらず、視聴者にいつも新鮮な印象を与えるニュースキヤスター。今回は『ニュースキヤスター最終版・デイライン』のキャスターとして人気上昇中の松尾紀子さんにご登場いただき、身だしなみについて語っていただきました。

■視聴者の目 お客さまの目は、とても厳しいものです。お店のスタッフが気にならないと感じるような些細なことでも、お客さまは見逃がしません。ユニフォームの汚れや床の汚れ、毎日お店にいるスタッフには気付かないところに、お客さまの目は光っています。

「ニュースキヤスターという仕事も、なにより視聴者の方々の目が一番気になるものです。身に着けているものももちろん、画面に映っているものすべてに対して、今日の服はスポーティすぎるかなとか、今日のはドレッシーすぎるかなとか、これは自分が判断するものではなくて、テレビをご覧になっている視聴者の方が判断するものですから。もちろん自分の好みもありますけど、視聴者の意見をどんどん吸収して、より理想に近づきたいものですね」

■季節感 お店はキッチンと整理されているのに、なぜか重い雰囲気になってしまふ。サツパリとした衣服を身に着けているのに、なぜか違和感が残ってしまう。こんな経験がありませんか？ このような場合、原因はたいてい季節感にあります。日本は四季がある国ですから、季節

と上手に付き合いたいものです。

「俳優さんやタレントさんと違って、仕事柄スーツを着ることが多いんですが、やはり春には春色、秋には秋色のものを考えますね。いまは花が咲く季節ですから、さわやかで暖かい色が中心です。毎週、1週間分の衣装を用意してもらっているんですが、今週はパステルカラーのものが2着あります。これが秋になると、グレーになったりブラウンになったり、シックで落ち着いた色を基準

■コーディネート 新鮮な身だしなみを心がけるといことは、毎日ユニフォームを取り替えるというだけではありません。同じ衣服を身に着けていても、ちょっとした工夫がお客さまに新鮮な印象を与えるものです。

「いまでこそスタイリストの方が毎日の衣装を用意してくれるんですが、ほんの数年前まではすべて自分で選び、自分で買っていたんです。ただ、毎日ブラウン管に顔を出すわけですから、同じものばかり着られませんか。かと言っ



て、月に20着ものスーツなど買えるわけがないんです。そこで、ベイシックなスカートを一枚用意して、アクセントになるようなブラウスを合わせるやりくりをしたんですが、それでも十分に新鮮でいられたなと思います。なんにでも合うベイスウエアを一着持っているといいですね」

■アクセサリ アクセサリーに代表される小物は、時によって衣装以上に人の

週の初めに1週間分の衣装を用意。スポーティすぎず、ドレッシーすぎずがキャスターの身だしなみ術

「好感の持てる笑顔とは、元気な笑顔」という松尾さん



目を集め、大きな演出ツールとなること
があります。しかし、使い方を間違える
と思わぬ悪印象を与えてしまうのも、や
はりこの小物たちなのです。

「私も毎日違うアクセサリを付けてい
るんですが、選ぶ時はとても慎重になり

ます。ニュースを正確に伝えることが私
の仕事ですから、私自身があまり目立つ
ようになつてはいけなし、派手すぎる
アクセサリは嫌味になりますからね。

気をつけている点は大きすぎないか、動
かないかの2点です。とくにイヤリング

などは顔の横で揺れていると、見ている
方がとても気になるようです。また、小
さくても印象に残りやすいものだから、
上手に使うよう心がけています」

■日本人の嗜好 個性化の時代などと呼
ばれる現代ですが、まだまだ日本人には
根強いシンブル嗜好があるようです。こ
の3月までニューヨーク特派員としてレ
ポーターをされていた松尾さんに、総体
的に見た日本人の好みを語っていただき
ました。

「アメリカの女性レポーターは、好んで
軽快なものを身に着けています。これは
レポーター自身が「自分は仕事ができる」
行動的である」とアピールするため、
視聴者もそのようなレポーターに好感を
持っているんです。しかし、日本でこれ
が通用するかというと、そうはいきませ
ん。あくまで清楚で落ち着いた色、デザ
インが好感を持たれるんです。これはい
まも昔も変わっていません」

■表情 気持ちを表わす顔の表情は、大
事な身だしなみのひとつです。ニコヤカ
な表情がお客さまに好感を与えるのほ
ちろんのことですが、表情ばかりは衣服
のように着換えることができません。い
つもニコヤかな表情を保つためのポイン
トをうかがいました。

「健康な肉体と精神を持ち続けることが
一番だと思います。それとストレスをた
めないこと。私はスポーツクラブで体を
動かすことで体を鍛え、ストレスを発散
しています。好感を持たれる表情という
のは、基本的には元気な表情だと思っ
てですね。だからいつも積極的な考え方を
するように努力していれば、自然と元気で
明るい表情になるんじゃないでしょうか」

NOTE

松尾紀子

フジテレビ・アナウンス局所属。'89年3月ま
では米・ニューヨーク特派員として活躍。現
在は帰国して人気報道番組『ニュース最終版
・デイトライン』のキャスター

《ニュース最終版・デイトライン》

フジテレビ系・月一金曜日11:45-
0:30放映。その日の出来事を、最
終版のニュースとして報道。時の人
を追い、タイムリーな番組づくりに
人気が集まっている。

情報クリップ

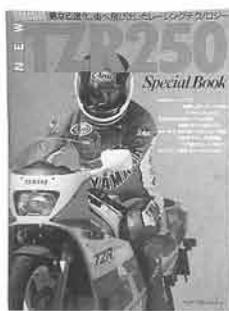
お忙しい販売店さんにお届けする情報コーナー

BOOKS

●'89 TZR250の魅力満載
『NEW TZR250
スペシャルブック』

「リヤエキゾーストパワー」装着して、よりエキサイティングな進化を遂げたTZR250。その魅力の秘密を、美しいカラーグラフィックと、小川明、福田照男両氏によるライディングインプレッション、そして詳細なメカニカル解説で綴った一冊です。

もちろん、メンテナンス解説やパーツリストもついているので、美しいだけでなく実用にも十分。店頭の本棚に置いて、お客さまとの話題作りにお役立てください。
850円 造形社・刊



●遠出の前にぜひ読みたい
『オートバイツーリング
マニュアル』

ツーリングシーズンを迎え、今まで眠っていたライダーも一斉に行動を起し始めた昨今。みなさま

のお店でも、お客さまを誘ってのツーリングやお客さまだけのツーリングなどが話題になっていることでしょう。

そこで、便利なのがこの本です。北海道や信州などの人気ツーリングスポットのガイドや装備品カタログ、万一の故障に備えての応急措置のノウハウまで、およそツーリングに必要な項目がもれなく網羅されています。

ぜひ店頭に備えて、お客さまの楽しいツーリングにお役立てください。1100円。
成美堂出版・刊



MUSIC

●新譜が一気に上昇!

『オリコン・CDトップ10』のころ、やや上位の変動が少なかったCDトップ10ですが、3月に入り続々とリリースされた新

順位	タイトル	アーティスト
①	昭和	長渕 剛
②	Ballads	中山美穂
③	sloppy Joe	大江千里
④	JÓY	工藤静香
⑤	D'N'A	アルフィー
⑥	NICE & EASY	ZIGGY
⑦	WAVE	T-スクエア
⑧	D'N'A (ゴールド)	アルフィー
⑨	NÓ MRÉ TEÁRS	PÉRSÓNŽ
⑩	TRAIN-TRAIN	THE BLUE HEARTS

(※付 オリコン調べ)

譜が7つもトップ10入り。特に「乾杯」や「とんぼ」で人気が復活した長渕剛の「昭和」は、圧倒的な人気で第1位を獲得。ぜひ注目したい一枚です。

COMMODITY

●一つで6役のツールセット
『アクティブギア』

小型ライトとメジャー内蔵の本体に、ナイフ、糸切りバサミ、θドライバー、毛抜きバサミをセットしたツールセットです。小型、軽量のうえ、ベルトフックと吊り下げフックがついていますから、携帯に大変便利。もちろん、持ち歩く時にツールが脱落しないよう工夫されています。

ちよつと山歩きを楽しんだり、あるいは普段の生活の中でと、いろいろな場面で活躍します。ツーリングやレースイベントなどにもあるといいですね。2800円。
お問い合わせ/ツインバード工業株
0256-9216111



1989 YAMAHA SUPER PREMIUM ITEMS

●ありがとっ、の気持ち成形にします

心はずむ5月。気持ちも新たに仕事や学業にのぞむお客さまも多いことでしょう。街やキャンパスを歩く姿には希望と期待がみなぎって見えますね。そんな時には持ち歩くバッグやケースもちよつとオシャレにキメたいものです。センスのよさが映えるヤマハコレクションから選んでプレゼントやプレミアムにご利用ください。



●ビッグショルダー
(No.043/4500円)
何でもとんとん入れられる、気軽なカジュアルバッグ。オシャレなブラックがキャンパスにぴったり。



●ブリーフバッグ
(No.044/6000円)
カジュアルにもビジネスにもマッチするスマートなデザインが魅力。街でさりげなくライダーマインドを主張します。



●スタッフ・バッグ
(No.054/1000円)
タバコやライター、化粧品、文房具などを気軽にバックする小物入れ。そのまま持ち歩いたり、大型バッグの中を分けて整理するにも便利。



●キャリングポーチ
(No.055/3600円)
小脇にかかえていつも持ち歩きたいセカンドバッグ。防水性があるので突然の雨でも平気です。

■'89世界選手権ロードレース第1戦・日本GP

YZR。パワーまぎまぎ！ J・コシンスキー優勝（250CCクラス） W・レイニー2位入賞（500CCクラス）

さらに熟成を遂げたワークスマシンYZRと、一層充実度を増した精鋭ライダーを揃え、満を持して迎えた'89世界グランプリ。その第1戦・日本GPが3月26日、鈴鹿サーキットを舞台に、8万4000人の観衆を集めて開催されました。ここでヤマハのYZR250を駆るJ・コシンスキーは、250CCクラスで世界グランプリ初優勝を飾り、500CCクラスでもW・レイニーが壮絶なトップ争いのすえ2位入賞を果たす大活躍をみせました。



一時は、ヤマハのワン・ツーかと思わせるほどの速さを見せたコシンスキー&本間のYZRコンビ

●250CCクラス

混戦が予想されたこのクラスを、予選から席捲したのがヤマハYZR250勢。まずその第1セッションから意欲的なタイムアタックをみせるジョン・コシンスキーは、早くも2分17秒128を叩き出し、第3セッションには17秒042をマーク。早々とポールポジションを決めました。それに負けじと続くのは本間利彦。最終第4セッションで17秒187を出し、セカンドポジションを手に入れました。

そして迎えた決勝レース。2位でスタートした本間は早くもS字で岡田をかわしトップ。しかし、コシンスキーはスタートミスで中団グループに。レース序盤はYZR250の本間とJ・P・ルジア、そして岡田・ボンスらを中心に展開。しかし、出遅れたJ・コシンスキーが急迫を見せ、4周目には早くもトップグループに追いつき、一気に本間をかわしトップを奪います。

このまま、ヤマハが1-2体制を固めるかと思われましたが、ボンス、そしてYZRを駆るルカ・カダローラらに加わり、激しいポジション争いを繰り返します。しかし後半になると、J・コシンスキーとボンスが抜け出し、トップ争いはこの2人に絞られてきました。

J・コシンスキーは、次第に消耗

が激しくなるタイヤを仰えつけながら、YZRの優れた操縦性と持ち前の見事なマシントラックでポジションにつけ入るスキを与えません。そして、依然トップを守ったまま最終ラップに突入しラストスパート。16秒720のラップレコードを記録するとともに、GP初優勝のゴールをくぐりました。一方、本間は2位ボンスの後、同じYZR250のL・カダローラと前輪を並べるようにゴール。惜しくもL・カダローラに3位を譲りましたが、4位入賞を果たしています。

●500CCクラス

シーズン開幕前から、元世界チャンピオンのフレディ・スベンサーがYZR500で世界グランプリ復帰したことに、盛り込まれた注目を浴びたこのクラス。予選から激しいタイム争いが展開され、大変興味深いレースとなりました。その中心となったのは、250ccに続いてまたしてもヤマハYZR500勢。

新たなヤマハのエースと期待されるヴェイン・レイニーは、予選第1セッションから2分12秒420を記録し、最終セッションまでトップを維持。続くのは昨年鈴鹿を制したK・シュワッツ。このまま決まるかと思われましたが、日本人ライダーの意地を見せる平忠彦は、YZR500のポテンシャルをフルに引き出し、11秒866のコースレコードで2年連続のポールポジションを奪ったのです。

ますます高まる緊張の中、決勝レースがスタート。まず飛び出したのは予選9番手のF・スベンサー。思わず観衆が総立ちとなる猛ダッシュを見せ、トップへ。その後、すぐW・レイニーにかわされて2位となったものの、前半は3位を走り、ファースト・フレディの一端をのぞかせました。



進境著しいW・レイニー

さて、レースはW・レイニーのリードで始まり、K・シュワッツがそれを追う形で前半が進み、出遅れた平も3位グループで頑張ります。しかし、12秒台というハイペースで飛ばすW・レイニーとシュワッツの2人は、3位以下を大きく引離します。そして、中盤以降、目まぐるしく順位を入れかえながらの大接戦を展開。8万4000人の観衆が息を詰めて見守る中、W・レイニーがトップで最終周に突入。しかしその第1コーナーでシュワッツに先行を許し、わずかに0.427秒及ばず2位となりました。その後のYZR勢は、K・マギーの5位を筆頭にN・マッケンジー、C・サロン、平、藤原が9位までを占め、注目のF・スベンサーは14位となっています。

なお、第2戦オーストラリア（4月9日）、第3戦アメリカ（4月16日）でもヤマハYZR勢は絶好調。W・レイニーはオーストラリアで2位、アメリカでは念願の優勝を遂げるなど、第3戦終了時点で54ポイントを挙げて500CCクラスランキングトップに浮上。

また250CCクラスでもL・カダローラがオーストラリア、アメリカとともに3位を獲得し、ランキング2位につけているほか、スポット参戦のJ・コシンスキーも地元アメリカで優勝を飾っています。

■'89全日本選手権第3戦筑波ロードレース大会

藤原儀彦(YZR500)
本間利彦(YZR250)
堂々のダブルウィン!

4月9日、全日本選手権ロードレースの美質的な開幕戦となる第3戦が筑波サーキットを舞台に開催されました。このレースで、ヤマハは250ccクラスの1位から5位までを独占したほか、500ccクラスでも藤原儀彦が優勝を飾り、YZRパワーを余すところなく見せつけました。



早くも今年のチャンピオンを予感させる、藤原の見事な走り

●国際A級500ccクラス

日本GP前の練習で負ったケガが完治せず、万全とはいえない状態でレースに臨んだ藤原儀彦ですが、それでも予選3番手を獲得。

決勝でも世界GP帰りの八代を相手に序盤から激しいトップ争いを展開。そして14周目、藤原は狙いすましたように第2ヘアピンで八代をかわしトップに浮上します。そしてその後は抜き返すスキさえ見せぬ完璧な走り、3年連続チャンプ獲得へ幸先の良い一勝をあげました。

また、今年から同クラスに参戦する町井邦生もスタートで出遅れたものの、激しく追い上げ4位に入る健闘を見せています。



表彰台はおろか、5位までをすべてヤマハが独占した

●国際A級250ccクラス

金曜日の公式練習中に56秒台をマークした本間利彦は、土曜日の予選でも57秒31のコースレコードを樹立し絶好調。決勝も本間がスタートからトップに立ち、そのまま独走。レース中に予選タイムを上回る57秒28を記録するオマケつきで圧勝しました。

またこのレースではTZ勢も大活躍。本間に続き難波恭司、向井慎悟が2位、3位に入り表彰台を独占した他、4位に原田哲也、5位に金安智彦選手が入り、ワークス、プライベートが入り混じる激戦区250ccで、ヤマハマシンの優秀性を強くアピールした結果となりました。



他を寄せつけない強さを発揮した本間+YZR250

89全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦関東大会・第2戦中国大会

ヤマハワークス勢、順調なすべりだし 光安鉄美総合3位(第1戦) 川崎智之総合2位(第2戦)に入る!

ロードレースに続き全日本モトクロスもいよいよスタートしました。今年のシリーズは前半が125cc、後半が250ccのマシンを駆って争われます。

開幕戦にあたる関東、桶川大会では、各チームがホコリに苦しむ中、ベテラン光安鉄美選手がトップ争いに加わりながら25ポイントを獲得、総合3位に入賞しました。

続く第2戦中国大会、ヒート1では、スタート直後のコーナーの転倒に巻き込まれた川崎選手が猛チャージ。トップを上回るほどのタイムで周回を重ね、見事3位入賞。ヒート2はヒート1を失った光安選手が



十分にチャンピオンを狙える位置につける
A級4年目の川崎



予選から乗れているだけに、ヒート1のバンクがくやまれる光安



YZR250+塩森俊伸を キリンメッツがスポンサー

昨年、全日本TT-F3クラスにヤマハYZF400でエントリーし、見事シリーズチャンピオンを獲得した塩森俊伸。今シーズンは、キリンビール株式会社のスポンサーによる「キリンメッツレーシングチームヤマハ」という新体制のもと、全日本250ccクラスに参戦することになりました。

昨年、全日本TT-F3クラスにヤマハYZF400でエントリーし、見事シリーズチャンピオンを獲得した塩森俊伸。今シーズンは、キリンビール株式会社のスポンサーによる「キリンメッツレーシングチームヤマハ」という新体制のもと、全日本250ccクラスに参戦することになりました。

マシンはもちろん、ヤマハYZR250。先日鈴鹿で行なわ

れた日本グランプリにもYZR250で参戦し、12位とまずまずの成績を残しており、全日本シリーズでの活躍が楽しみです。国際A級昇格後はしばらく4ストロークのYZFがメインでしたが、もともとは2ストロークの250ccでデビューし活躍していたライダーだけに、本人の意気込みも十分。ぜひご声援ください。

バイクで中国3万キロの旅へ 女性単車中国親善旅行

女性として初の二輪車技能指導員となった、兵庫県西宮市に住む小島直子さん(25歳)。彼女を中心とする「女性単車中国親善旅行隊」は、87年の秋、原千恵子さん(26歳)を隊長に5人のメンバーで北京から中国西域最西部を回り上海へ帰るといって一万3000キロのツーリングを成功させた実績もついています。

高原を回って重慶から上海に戻る、約3万キロに渡るツーリングに出発します。そのメンバーは、スクーターで欧州各国を走破した経験を持つ福田久勝さん(60歳)を総隊長に、小島隊長と原さんを含む計7名。福田さんが車で全行程をサポートするほかは、全員がヤマハの協力によるセロー225でチャレンジします。500メートル級の高地や壮大な砂漠を通るこのコースは、男性ライダーにとっても過酷を極めると予想されますが、彼女たちは「パリ・ダカール・ラリー以上の国際ラリーコース開拓を果たしたい」と意欲満々。外国人として初めて許されたルートでもあるだけに、大変に意義のある試みともいえます。

出発は5月16日。神戸港より豎真号で日本を出て、帰国は9月11日になる予定。ぜひとも全員無事で完走できるよう、心から応援したいと思えます。



モータースポーツの輪を広げよう 第5回大阪モーターサイクルショー

バイクファンはもちろん、女性からファミリー層まで幅広い人たちに真のモータースポーツの楽しさを知ってもらおうと、開催された。OSA KAモーターサイクルショー。今回は3月31日(金)4月2日(日)までの3日間、大阪インテックス大阪6号館で行なわれ、多数の来場者で賑わいました。

先日東京で行なわれたモーターサイクルショーとは多少趣きが異なり、国内4メーカーや外車取扱い会社を中心に、カスタムショップは少数でしたが、各ブースとも'89ニューモデルの展示をメインになかなかの盛りぶり。とりわけヤマハのブースには、人気のニューTZR250やFZR250R/400R、ニューJOG、TDR250、DT2000Rなどの市販車や、YZR500/250といったワークスマシンも展示され、多数の人垣を作っていました。また4月1日・2日にはワークスライダー本間利彦も顔を見せ、サイン会や撮影会を行なってファンを喜ばせました。



世界旅行中の斉藤夫妻、 現在75000キロを走破

'87年6月にXT600テネレで世界旅行に出発した斉藤晃、則子二夫妻。お二人は今、アフリカでの冒険旅行を終えて、南フランスでひと休みの最中です。

では、何と「パリ・ダカール・ラリー」の一隊と出会い、オリビエやビコ、ヌブーらと会話する楽しいひと時もありました。

昨年11月、西ドイツのデュッセルドルフからイタリアのジェノバをフェリーで発ち、いよいよアフリカへ向かったお二人は、まずチュニジアにアフリカ旅行の第一歩を記しました。そこで初めて接するイスラム世界は、まるで映画の中にあるような気分だったそうです。

その後、フランス語ができず、転倒したバイクの修理などで大変な苦労を重ねながら、ようやく南フランスまでやって来たわけです。ここまでの走行距離は75000キロ。予定の3分の2を走ったことになりました。このあとひと休みしたら、オランダ、オーストラリア、そしてアジアを回るつもりだということです。ぜひガンバツて完走してほしいものです。



ヤマハ奨学生・第6期生28名がめでたく卒業

ヤマハが、オートバイ販売店さんの後継者養成のために行なっている「ヤマハ奨学生制度」すでに全国各地の皆さんの販売店さんにご利用いただき、毎年フレッシュな後継者の方々が送り出しています。

今年もまた、第6期生28名のみならず、3年間にわたるヤマハ各販売会社でのOJT教育を終えて、3



月10日に卒業式を迎えました。その席上、みなさんが決意も新たに、今後の販売店経営の夢を語り合う姿は大変に印象的でした。

今後は、ヤマハとの良きパートナーとして活躍をお祈りするとともに、各関係のみなさんの暖かいご支援をよろしく願っています。



'89 ヤマハカップレディースオープン 森口祐子が今季初優勝

4月6日から4日間にわたり、静岡県・葛城ゴルフ倶楽部山名コースで行なわれた、「ヤマハカップレディースオープン」。ヤマハグループ主催のこの大会は、優勝賞金900万円を含む賞金総額5000万円と、国内ツアー序盤戦のビッグゲームです。参加者は、「女王」樋口久子、森口祐子、涂阿玉、生駒佳代子、大迫たつ子らトッププロがズラリ。また、今シーズンはアメリカツアーに出場し

ているヤマハの中島千尋も、この大会のために帰国して名を運ねました。さてゲームは、初日10位につけた森口祐子が2日目70、3日目70、と好調にスコアを伸ばし、3アンダーと2位の生駒に5打差をつけ単独トップに立ちます。そして迎えた最終日、3オーバーの75で回った森口は、通算イーブンバーにスコアを落とし、たものの、前半2打差まで詰め寄った谷福美を振り切り、結局5打差をつけて今季初勝利をものにしました。

また、期待されたヤマハの中島千尋は、スコアこそ振るわなかったものの、3日目の4番ホールで見事なホールインワンを記録するなど健闘を見せました。なお、この日は中島のほか、森口、涂の3人がホールインワンを決めています。

第3回 毎日海外バイクツーリング 今年はマレー半島を縦断!

'86年、'87年とバリ島へ出かけ、大変に好評を博した「毎日海外バイクツーリング」。今年はその3回目として、マレー半島縦断アジア・ハイウェイに挑戦します。

マレー半島にはタイ、マレーシア、シンガポールの3カ国があり、それぞれに異なった文化形態をもつ、コスモポリタンの雰囲気あふれるところです。そのマレー半島に、タイ南部のハジャヤイから入り、アジア・ハイウェイを経てマレーシア、ベナン島などを巡りジョホール・バルへ至る約1200キロのツーリングを行なう予定です。

ヤマハが協力するツアーですから、使用するバイクはヤマハの最新車が原則として用意されます。

この機会を利用して、お客さまと一緒に海外ツーリングに参加してみたいかがでしょう。

- 期間／'89年7月14日(金)〜21日(金)
- 料金／279000円(航空運賃、宿泊費、昼食1回を除く全行程の食事代、レンタルバイク代、ガソリン代、伴走トラック費用を含む)
- 募集人員／30名(最小催行15名)
- お問合せ／毎日企画センター内アジア・ハイウェイツーリング係 〒100 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社内 03121210321 内線3872

S E R V I C E

サービスマニュアルと 新標準工数表が サービス活動をサポートします

正確・確実なメンテナンスは、お店の信頼を高める一番の近道です。整備の済んだ車両は自信を持ってお客さまにお渡ししたいものですが、そのために役立つのがサービスマニュアル。今回はYD125(S)のサービスマニュアルと、'89年度の新標準工数表をご紹介します。

	YD125(S) サービスマニュアル	No.391157	¥2,600
標準工数表	スクーター・ビジネス編	No.326504	¥500
	2〜スポーツ・トレール編	No.326505	¥500
	4〜スポーツ・トレール編	No.326506	¥500

信頼されるサービス技術修得 のためにYTS講習会

お店の信頼を高めるためには、やはりサービスマンの技術力がとても重要です。YTSヤマハ二輪車整備士講習会でしっかりとした整備技術を身につけ、お客さまが納得するサービス活動を行なってください。



■YTS二輪車整備士講習会・5〜6月スケジュール

会場	5月				6月			
研修センター東京	2M 9-11	2M 18-20	B 22-24	B 25-27	4M 6-8	B 12-14	B 15-17	2M 19-21
研修会館ヤマハ中部	2M 10-12							
研修センター神戸	B 10-12		2M 23-25		B 6-8	2M 13-15		B 27-29
ヤマハ中国					B 6-8		B 21-23	
ヤマハ四国					B 13-15			
研修センター福岡					2M 10-12			B 6-8

B：ベーシック 2M：2サイクルマスター 4M：4サイクルマスター
※都合により開催日の変更及び中止となる場合がありますのでご了承ください。

Y E S S

YES S NICE R I D E 募金

店頭での盛り上げを よろしくお願ひします

4月20日から11月30日までのキャンペーン期間中、YES S ショップのみなさまの店頭やYES S イベントの会場で、YES S スタッフを含めた一般の方々から募金活動を行っている「YES S NICE R I D E 募金」。集まった募金は12月にYES S 本部事務局に集約され、(財)日本盲導犬協会に寄付されることにな

っています。
このキャンペーンは、YES S の認知度アップという狙いの他に、誰でも参加できるキャンペーンの実施によるYES S スタッフの拡大という意味を持っています。どうぞキャンペーンの主旨をご理解のうえ、店頭での盛り上げをお願いします。



K A R T

ストッククラス用スペシャルフレーム、
ニューRS-I登場!!
ご拡販をお願いします

このページは、ヤマハから販売店のみなさまへのご案内です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店、販売会社のサービス課(サービス)、普及課(セフティ)までお問合せください。

RC SUGGOから '89 ニューモデル・キットパーツ発売

レース用マシン専用のキットパーツの開発、販売を行なっている「RC SUGGO」から、'89 ニューモデルのキットパーツが4種類発売されました。

まず、ワークスマシンYZF750のテクノロジを集結し、あらゆるプロダクションレースに勝てるマシンとして発売されたFZR750R(OWO)には、さ

らにその戦闘力を高める「SP750KIT」と「スーパーバイクKIT」が、チャンピオンマシンYZF400の血統を引くFZR400Rには「SP400KIT」と「FIIIKIT」がそれぞれ発売。ヤマハニュースポーツでエントリされるお客さまへのご案内、よろしく願います。



(上) FZR750R 用

SP750キットセット

セット標準価格

¥190,000

(下) FZR400R 用

SP400キットセット

セット標準現金価格

¥90,000

(価格には消費税は含まれていません)

※本仕様は予告なく変更されることがあります。また、このレーシングパーツはレース専用のもので、一般公道車両には使用できません。お客さまへのご指導よろしく願います。

A/D

5月のヤマハ提供番組

■ONANDOFF

海と陸、ふたつの素晴らしい世界をステージに繰り広げられるヤマハワールドを、スポーツマインドいっぱいに追いかけた話題の番組です。美しい映像とBGMを、お客さまとともに楽しみ下さい。

▼5月6日「ヘマリン編」
「風が語りかける時」

▼5月13日「ヘバイク編」

「2気筒ライダーは、ミュージシャン」

▼5月20日「ヘマリン編」

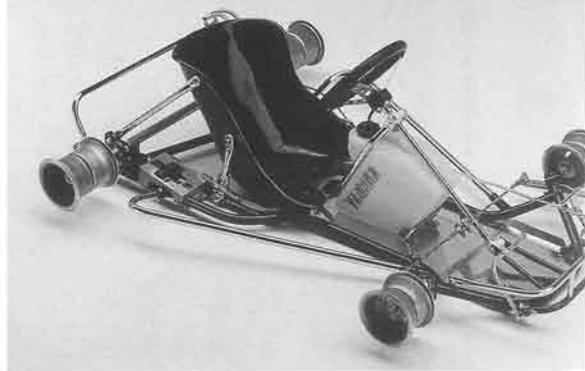
「猿島へ……」

▼5月27日「ヘバイク編」

「NEW FZR・信州ツーリング」

※一部地域では放送日が異なります。テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎

ニ-RS-1 メーカー希望小売価格¥198,000
※消費税額は別途計算の上申し受けます。



SLタイヤとの理想的なマツチングによって、ストッククラスを席捲するスペシャルフレームRS-1。格調高いメタリック塗装インディゴブルーカラーを身にまとい、大型サイドバンパーの装着とともに、一段と飛躍を遂げての新発売となりました。ますます広がるレーシングカートファンに広がる高性能フレーム、RS-1のご拡販よろしく願います。

■オリジナルコンサート/私たちの創った世界

世界各地で精力的な活動を続ける(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」で育った世界の子供たちによる、自作発表会のもようをお届けしています。

テレビ朝日系全国12局ネット。放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。



“NICE RIDER”の意識を高める『二輪車セーフティスローガンキャンペーン』

ヤマハは、二輪車事故防止のために「YES NICE RIDING キャンペーン」などの活動を積極的に行なっていますが、昨年に続いて5月1日から始まる「二輪セーフティスローガン」の募集もそのひとつ。ライダーを含めて広く一般の人たちに、交通安全を訴える標語を作ってもらおうことで、さらに広く深く安全意識を浸透させようというのが狙いです。

今回は全国YES NICE ショップ会に加え、自賠責保険加入の徹底化を呼びかけ、ライダーの安全保持をバックアップする住友海上火災保険の共催で行なわれ、ヤマハ発動機・ヤマハ安全運転推進本部がこれに協力します。
みなさまのお店でも、ぜひお客さまへの話題として広くご案内のうえ、スローガン募集にご協力ください。

- 募集期間 / 5月1日～7月31日（当日消印有効）
- 応募資格 / どなたでも可
- 応募方法 / 官製ハガキ、またはキャンペーンハガキに以下の項目を明記のうえ応募先に郵送してください。
- 記入項目 / ①スローガン案（50字以内）②応募部門③郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号④加入バイククラブ、所有バイクの有無と車種⑤このキャンペーンを知った広告、場所
- 応募部門 / (A)学生男性の部 (B)学生女性
性の部 (C)一般男性の部 (D)一般女性の部
- 応募先 / 〒438 静岡県磐田市 新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 事務局「セーフティスローガン係」
- 審査員 / 長江啓泰氏（日本大学教授 授工学博士）他4名
- 審査日 / '89年9月上旬
- 表彰 / 最優秀賞—各部門1名
優秀賞—各部門3名
佳作賞—各部門5名
- 主催 / 全国YES NICE ショップ会
住友海上火災保険

バイクライフを楽しく演出 チームヤマハ・オリジナルグッズ

ライダーにとっての究極のステージといえば、やはりサーキット。このサーキットの雰囲気満載した人気の“チームヤマハ”シリーズのオリジナルグッズです。タウンライフにもバイクライフにも、便利で楽しい機能がいっぱいです。

※下記商品の価格は、消費税を含みません。



AT-111 キャップ ¥2,300

〔カラー〕 レッド/ブルー/ホワイト
〔サイズ〕 フリー
〔素材〕 ナイロン100%



AT-117 タオル ¥2,400

〔カラー〕 レッド
〔素材〕 綿100%



AT-113 ウエストバッグ ¥3,800

〔カラー〕 レッド/ブルー
〔素材〕 ナイロン100% (PVCコーティング)

AT-115 ショルダーバッグ ¥14,500

〔カラー〕 レッド/ブルー
〔素材〕 ナイロン100% (PVCコーティング)



AT-114 デイバックポーチ ¥5,200

〔カラー〕 レッド/ブルー
〔素材〕 ナイロン100% (PVCコーティング)
●ヘルメットの入るデイバックになります。



AT-119 グローブ(5ソウセット) ¥3,000

〔カラー〕 レッド
〔素材〕 ナイロン100%



AT-116 パラソル ¥15,000

〔カラー〕 ホワイト
〔素材〕 ナイロン100%



AT-120 エプロン ¥3,800

〔カラー〕 レッド
〔素材〕 綿70%、ポリエステル30%



AT-121 ライター

(24コセット) ¥6,720
〔カラー〕 ホワイト



AT-118 ステッカー ¥700

〔カラー〕 ホワイト





ガラス張りの利点はたくさんある。店内の様子が見え、店内の様子がお客さまも安心して中に入れる



用品の数も豊富。種類別に見やすくレイアウトされている

お客さまコーナーのガラスの向こうはサービス工場。作業待ちのお客さまを退屈させない工夫



商品を最大限にアピール 解放感あふれるショールーム

渡辺昇八社長（YSP焼津）

静岡県焼津市三ヶ名 1-3-96 TEL 0546-28-6908

4輪ディーラーショールームの特徴といえば、高い天井と総ガラス張り。広くゆったりした店内にはほんの数台の展示車が置かれているのですが、その空間が落ち着きを生み、来店者はゆっくりと商品に接することが出来ます。

今回ご紹介する「YSP焼津」さんは、そんな雰囲気大切にしているお店です。ガラス張り、高い天井、そして少なめの展示台数により商品に高級感を持たせ、来店者に解放感を与えています。



ファミリー的な接客もお店の自慢。左から事務担当の多々良さん、奥さまの充子さん、渡辺社長、高井サービスマン、望月セールスマン（ヤマハ中部㈱静岡営業）

● 四輪ディーラーのショールーム感覚

道路に接する2面は総ガラス張り、そして高い天井。「YSP焼津」さんのショールームは解放感にあふれています。これは、日頃4輪ディーラーのショールームづくりに興味を持っていた渡辺社長の成果のひとつ。お客さまに商品がゆっくり見ていただきたいという心配りです。

「お客さんに商品をゆっくりと見てもらうには、なんといっても解放感が必要です。そのためガラス張りであり、高い天井なんです。そこに欲張って何種類ものバイクを並べたら、建物の持つ利点を生かせないだけでなく、商品の価値まで下げて見せることにもなります。ハンドルの間をすり抜けてやっとながらるなんて、買う側にとっても印象悪いですし、キズもつきやすいですから」

ショールームが広いから数多く並べるのではなく、広いからこそ空間を利用したレイアウトをする。70坪のショールームに10台ほどの展示ですが、それが功を奏して高級感、落ち着いた雰囲気を生みだしているようです。

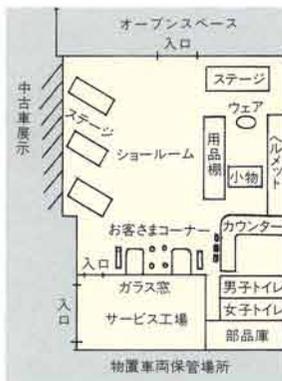
● 季節・需要に応じたディスプレイ

展示方法によって、お客さまに与える商品のイメージは違ってきます。渡辺社長はオートバイの持つ魅力を十二分にひきたすため、動きのあるディスプレイを心がけています。外からも見えるようにと、ガラスの側にステージを設けています。

「たとえば、夏はボードセイリングやスキューバダイビングの用具を。BGMも夏らしく。秋には落ち葉を敷きつめたり、



売りたい、見せたい商品はウインド側のステージ上に展示



明るく広いショールーム。お客さまはゆったりとした雰囲気の中、バイクと接することができる

《お店のデータ》

- オープン：'87年8月、実父が経営する渡辺自動車モーターズ商会から独立
- 店舗規模：110坪の敷地に90坪の店舗(ショールーム70坪、サービス工場20坪)
- 展示台数：約30台で、ショールーム内には10台
- 立地：県道焼津・藤枝線に立地。周辺は住宅地。近年中に国道150号バイパスが開通する予定
- 商圏：半径約20km。浜松、藤枝など市外のお客さまも多い
- 客層：18~24歳の社会人が中心。女性客が徐々に増えている
- 年間販売台数：240台(スクーター/約6割)
- 告知活動：イベント告知DM(200枚/回)新聞広告、雑誌広告



● ショールームを24時間機能させる

営業時間が終了し、閉店の片づけが終っても、お店は常に誰かに見られるもの。広い通りに面するお店ならなおさらです。「ガラス張りなら、夜でも店内の様子がわかります。そこでバイクを片づけるときに、見せたい商品は手前に見やすく並べ、他のものは店の奥にしまいます。YSPの看板や道路の街灯などで、ショールームが浮かびあがります。夏などは若い人達が缶ジュース片手に覗き込んでくるようです。翌日の来店にも結びつきますので、ショールームは24時間営業という意識を持っています」

広いショールーム、高い天井、そしてガラス張りなど、店舗の持つ特徴をフル活用したショールームに気を配り、お客さまの好評を集めるYSP焼津さんです。

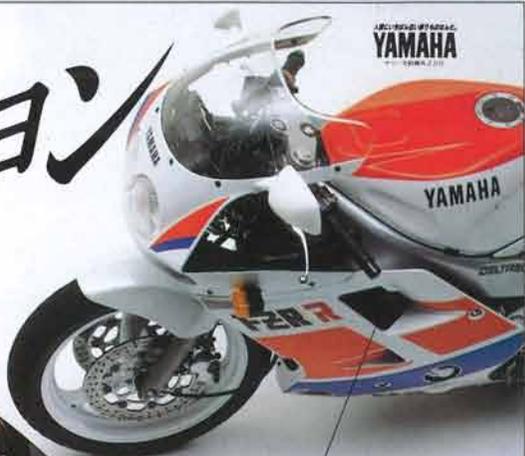
ススキの穂をさしたり。冬はもちろんスキー。綿で雪を演出し、スキーウェアを着せた人形に板をかつがせ、四輪バギー車にまたがらせました。このディスプレイはスポーツ用品店と間違われたほど、一般の人にもインパクトを与えたようです。もちろんお客さんにも好評です。スポーツ用品に関しては、お客さんやその友達から借りたもの。喜んで借してくれているんですよ」

では春は、という他の季節とは違ってきました。

「春は最需要期です。お客さんにとっては凝ったディスプレイよりも、少しでも多くの情報を入力できる方が重要です。ですからこの時期に関しては展示台数を少し増やし、商品そのものをじっくり見て確かめてもらうことを心がけています。ステージ上はもちろん新商品、今ならニューFZRシリーズとニューTZR250です」

エヴォリューション

ただ速く走るための高性能ではなく、騎る人の気持ちに応える高性能、人の五感に響く高性能
それが、ニューFZR250Rに備えられたヒューマンレスポンスだ
マシンとの強力な一体感、気持ちの高揚させるハイパフォーマンスな走り
あのYZF750を生んだ「ジュネシス」のコンセプトを継承し、
エンジンからフレーム、スタイリングまで、すべてが新基準
まさに、進化と呼ぶに値する性能を獲得したニューFZR250R
新しい時代を先駆け、ついにデビュー



換気デバイス
"EXUP"装置マフラー
エンジン回転数に合わせた
可変バルブ機構により、高回転域で
吸排気効率を向上させ、レスポンスを
向上。力強い加速と安定した走りを実現。

Engine type: 4-stroke,
liquid cooled, 4-valve, DOHC
Displacement: 249cc
Max power: 45ps (33.0kW) @ 11,000rpm
Max torque: 2.5kg-m (22.00N-m)
EXUP: 付
Transmission: 6-speed constant mesh
Coloring: Blush black polar silver
silly white fine red

ヒューマン・レスポンス
FZR250R *New*

NEWアルミマルチスポークフレーム
& デルタネックジョイントアール
YZF750Rから継承した、高剛性の
新フレーム構造により、乗車感覚を
向上。ロードホールドと乗り心地を向上。

前後45・4バルブDOHC水冷・インラインエンジン
縦置き45cc・4バルブ・DOHC・水冷・インラインエンジン
高剛性フレーム・デルタネックジョイントアール
高回転域での吸排気効率を向上させ、レスポンスを
向上。力強い加速と安定した走りを実現。

フレームマウント式フルフェアリング
フレームマウント式フルフェアリング
ロードホールドを向上させ、安定した走りを実現。
ライダーとマシンとの一体感を向上。

新設計F.A.I.
フロントフォークのF.A.I.機構により、
エアロダイナミクス性能を向上。
エアロダイナミクス性能を向上。

貫通4ポットキャリヤー設置ダブルディスクブレーキ
4ポットキャリヤー設置ダブルディスクブレーキ
ブレーキパッドの摩耗を抑制し、
ブレーキ性能を向上。

HAVE A NICE RIDE! *イェアヲリユージュン*
●エンジンの回転数に合わせた可変バルブ機構により、高回転域で吸排気効率を向上させ、レスポンスを向上。
●高剛性の新フレーム構造により、乗車感覚を向上。ロードホールドと乗り心地を向上。
●フロントフォークのF.A.I.機構により、エアロダイナミクス性能を向上。
●ブレーキパッドの摩耗を抑制し、ブレーキ性能を向上。

ON OFF バイクとマリンスポーツの総合情報TV番組
●バイクはもともと、楽しみのためにある。バイクはもともと、楽しみのためにある。
●バイクはもともと、楽しみのためにある。バイクはもともと、楽しみのためにある。

- エボリューション——これは“進化”の意味です。マシンそのものの技術的進化もさることながら、NEW FZR250R の場合はその技術のすべてがマシンを操る人のためにある、人の感性に即応する先進の技術だからこそ、エボリューションなのです。
- そして、このエボリューションの結果生みだされた高性能を、ヤマハは“ヒューマンレスポンス”と呼びます。
- デザインはもちろん、フレームやエンジンをはじめ車体を構成するすべてのパーツに盛り込まれた最新のヤマハテクノロジー。これらが生んだ、誰にでも味わえる、人の五感に100%応える高性能を、どうぞ数多くのお客さまにご案内ください。